

先日北海道を旅行中のオリエンタルランド（ディズニーランド）前社長福島祥郎さんから手紙を頂きました。

「積丹半島、島武意海岸の素晴らしい景観を眺めながら思う事は、今日本は陰の時代を迎えて行く先が塞がって進もうとしても進めない時代。その対処法は耐える事、受け入れる事、反省する事です。陰の気質はもともと日本人の気質ですから、むしろこれからは日本の時代です！頑張ってください…」とありました。私は年初めの挨拶の中で、これからの日本は「光と影」の時代を迎えるでしょう。それは小泉政権の経済政策を続けるならば中国、タイ、韓国、アメリカ、エジプト等の様な大きな格差社会が生まれ、年金によって老後は安心して豊かに暮らせると言う夢はなくなるからです…と説いて来たつもりであります。

しかし福島さんの言われる陰と陽とは？私の受けた印象から言えば、中国4千年の歴史データから生まれた陰陽五行説の言葉であって、天地万物はすべて陰と陽の二つの気から生じ相反する性格を持つと考えられております。日本が戦争で何もかも失ってから世界第2位の経済大国に大成長して昭和時代を陽とするならば、デフレ不況に悩む平成の時代は陰の時代であります。福島さんが言われる様に陰の時代は決して暗い時代を言うのではなく、陽の時代は技や業を延ばす見栄えの良い時代、花や実は時が来れば散り、落ちてしまうけれど陰の時代は根や幹を太く伸ばす時代だ。世界に先行し、少子高齢化、デフレ、人口減少と言う最悪の経験をして、根を張り、幹を太くしてきた日本人の経験をこれから伸ばす機会だと福島さんは言って居られたのだと理解しています。福島さんの対処法とは「耐える事、受け入れる事、学ぶ事、反省する事」とあります。先日亡くなった友人の会長への弔辞の中に「この会社がここまで来られたのは会長の終生の休日は盆3日、暮れに2日、正月2日、年7日だけ、それだけ会社への愛着心の深い方でしたから…」とのべられました。

私も創業時の15年間は朝2時に起き、眠るのは12時、休日は1日もありませんでした。貧血で4回倒れました。多くの創業者の方もそうだったと思います。それからいつか高度成長となり、甘えが生まれ、自己過信となり、何のために働くかを忘れ、コンピューターやマスコミから与えられる結論、イエスかノーの情報に自分達が培ってきた経験から生まれた知恵、初心を忘れてしまったからバブル崩壊、リーマンショックに対応できなかったと思っています。

建国以来2700年国体を一度も変えることなく、兄弟、家族、隣人に感謝し、分かち合い、助け合い、共に生きて来た日本人の伝統的生き方を取り返す時が陰の時代？です。

前回のFAX通信でホームコミュニティーの必要性を書いたのは「老いたら酔って昔を語れ、苦勞した経験は老練な知恵と仲間意識が生むから」であります。29日に福島さんが「君津のうまい肴を食べながら陰の時代を語り合おうとやってきます」誰でも結構です。お付き合い下さい！